

証券コード：9179

第46期 ビジネスレポート

2011年4月1日 ▶ 2012年3月31日



シルバープリンセス

川崎近海汽船株式会社

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社は2012年3月31日をもちまして、第46期を終了いたしました。

ここにビジネスレポートをお届けし、その概況等につきまして

ご報告させていただきますので、ご高覧のほどお願い申し上げます。

株主の皆様には引き続き変わりないご支援を

賜りますようお願い申し上げます。

2012年6月

CONTENTS

株主の皆様へ	1
財務ハイライト	2
トップインタビュー	3
部門別営業概況・運航船のご紹介	5
財務情報（連結財務諸表）	7
財務情報（個別財務諸表）	9
トピックス	10
特集 中期経営計画の策定について	11
株式の状況	13
会社概要	14
株主メモ	裏表紙

代表取締役社長

石井繁礼



財務ハイライト

2012年3月期の業績結果

連結業績

売上高	415億70百万円(前期比+ 6.9%)
営業利益	17億 8百万円(前期比△36.5%)
経常利益	15億86百万円(前期比△37.1%)
当期純利益	5億66百万円(前期比△62.3%)

連結財政状態

総資産	386億27百万円
純資産	208億29百万円

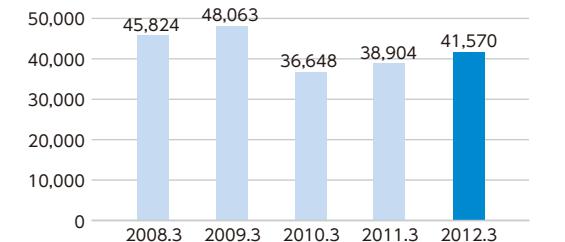
連結キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フロー	19億66百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	△52億20百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー	1億21百万円

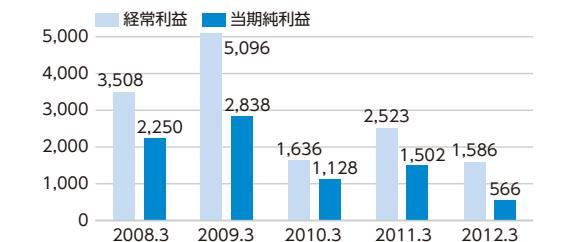
年間配当金

1株当たり配当 7.0円(前期比△3.0円)

売上高



経常利益 / 当期純利益



2013年3月期の業績予想

連結業績

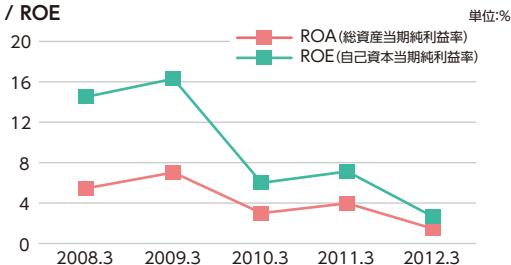
	第1・第2四半期 累計	通 期
売上高	209.0億円	418.0億円
営業利益	7.5億円	16.5億円
経常利益	7.0億円	15.0億円
当期純利益	7.0億円	10.0億円

(通期の円ドル為替レート想定 1ドル=80円)

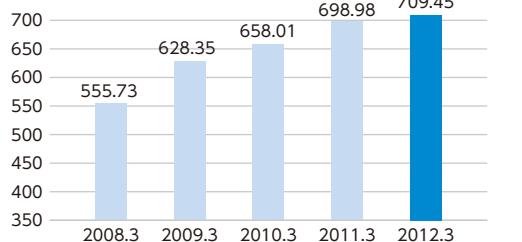
年間配当金

1株当たり配当 8.0円を予定

ROA / ROE



1株当たり純資産



トップインタビュー

当期の業績について教えてください。

当期におけるわが国経済では東日本大震災以降、国内物流網の回復で輸送量の増加の兆しがみられましたが、個人消費の低迷、企業の設備投資の伸び悩みなどがあり、景気は不透明な状況で推移しました。

海運業界においては、円高の進行や燃料油価格の高騰など事業環境は大変厳しいものとなりました。

こうした情勢下、当社は顧客のニーズに的確に対応しながら、近海部門、内航部門の各部門にわたりきめ細かな営業活動と効率的な配船、諸経費の節減に努めました。

この結果、当期の売上高は415億70百万円となり、前期に比べて6.9%の増収となりました。しかし、営業利益は17億8百万円となり前期に比べて36.5%の減益、経常利益は15億86百万円となり37.1%の減益、当期純利益は5億66百万円となり62.3%の減益となりました。

中期的な経営戦略と対処すべき課題についてお聞かせください。

日本経済は、復興需要の顕在化や政府のエコカー購入支援策などによる個人消費の下支えを背景に、緩やかな回復軌道をたどる見通ししながら、デフレ基調下での企業経営は引き続き不透明感が続くものと予想されます。

海運業界を取り巻く環境は、世界経済の緩やかな好転により海上貨物輸送量の回復が期待されるものの、燃料油価格の上昇や為替変動など収益を圧迫する懸念があり、依然として厳しい状況が続くものと思われま。

こうした状況下、コスト削減に努めながら、引き続き安全運航と効率的な配船を行い、顧客のニーズと中長期的な市場動向を見極め、経済構造の変化に対応して、更なる収



益の拡大を図っていきたいと考えております。

各事業セグメントの今後の課題と取り組みについては、次のとおりであります。

近海部門

不定期船輸送では、来年2月と5月に25,000重量トンバルカー*を投入するなど、船隊整備計画を進めており、今後も顧客ニーズに応じた競争力ある船腹提供を心掛け、新規市場への業容拡大と安定的な収益体質の構築を図ります。

定期船輸送では、往復航の輸送量減少が懸念されることから、適正船腹量の調整や運航コストの削減を図り、きめ細かい事業運営に取り組んでまいります。

内航部門

不定期船輸送では、中長期的な展望に立ち、新規顧客、新規貨物の開拓を積極的に行い、市況や荷主の動向に合わせた船腹の確保に努めてまいります。

*バルカー：梱包されていないセメント、石炭などのばら積み貨物を船倉に入れて輸送する船

定期船輸送では、昨年全線開通した北関東自動車道の利便性を活かして、北海道―関東―九州間の輸送量拡大に努めます。また、茨城港の完全復旧に合わせ、苫小牧航路向けに代替新造船を投入してまいります。

八戸―苫小牧フェリー航路は、最新鋭船「シルバープリンセス」の投入による輸送力の増強を活かした積極的な営業活動を展開するとともに、現在の4隻運航体制を堅持し、安全運航に努めてまいります。

配当につきましては、当社は1990年3月期から連続して配当を実施しております。今後も株主の皆様への安定的な配当を目指しますが、収益状況に応じて経営基盤の強化、事業展開に備えた内部留保の充実なども勘案して利益配分を決定することとしております。

当期の配当金につきましては、1株当たり3円50銭の中間配当を実施いたしました。期末配当も3円50銭とし、年間配当金は7円となりました。

次期（2013年3月期）の配当金につきましては、当社の財政状況および通期の業績見通しなどを勘案し、年間配当金は1株当たり8円（うち中間配当金を1株当たり4円）を予定しております。

次期(第47期・2013年3月期)の業績見通しについてお聞かせください。

世界経済の先行きに対する懸念から、海運市況は不安定な状況で推移すると考えられます。また、供給不安による原油価格の高騰で燃料費の増加が予想されることなどから、次期の業績につきましては、売上高418億円、営業利益16億50百万円、経常利益15億円、当期純利益10億円を見込んでおります。

部門別の見通しは次のとおりです。

近海部門では、新興国経済が底堅く推移するとの見方から、不定期船輸送におけるばら積貨物の輸送量は増加傾向にありますが、年度輸送契約における運賃水準は新造船の供給圧力などにより低下傾向にあります。また、定期船輸送では、燃料油価格の高止まりにより厳しい状況が続く見通しです。

内航部門では、石灰石専用船は安定稼動が見込まれ、国内RORO船定期航路では昨年10月に実施した航路再編が奏功し、収支改善と安定した輸送量を維持できる見込みです。フェリー輸送では、最新鋭船「シルバープリンセス」の投入により、積極的な営業活動を行い、貨物、乗用車、旅客輸送量の増加を図ってまいります。

当社は、近海・国内物流の変化にともなう顧客の要望に迅速に対応し、会社業務の拡大を目指すとともに安定収益を重視することを常に経営の基本方針としてまいりました。

すなわち近海部門、内航部門の相互補完的な経営を続けてきた結果、現在の企業体質が構築されており、安定収益重視の経営を継続するためには各部門それぞれの充実を図ることが肝要と考えております。今後とも、人材の適材適所による組織の合理化および活性化を図り、顧客のニーズに応えるべくグループ全体を結集して優良なサービスの提供に努めます。

株主の皆様には、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



部門別営業概況・運航船のご紹介

100

近海部門

売上高 ————
152億26百万円
営業利益 ————
△5億46百万円

36.6%

80

不定期船輸送

14 隻

不定期船輸送では、中国を中心とする新興国における堅調な需要が下支えになり、輸送量の確保に努めてきました。年度後半には景気減速傾向に入り、ドライバルク（ばら積み貨物）市況も新造船の供給圧力と相まって低迷状態が継続しましたが、年初取り決めの年間契約および中長期契約により輸送量は前期に比べて増加しました。



TROPICAL BREEZE

日本、東南アジア、極東アジアにおける南洋材、チップ、石炭などを輸送。石炭輸送においては、中国炭、ロシア炭輸送の有力船社として確固たる地位を築いています。
GLORIOUS FUTURE／SUNROAD YATSUKA／CHIKUSA 他

60

内航部門

売上高 ————
262億64百万円
営業利益 ————
22億7百万円

63.2%

不定期船輸送

10 隻

不定期船輸送では、粗鋼生産量が前年割れとなりましたが、石灰石、石炭の各専用船は年間を通して概ね安定稼働を維持しました。小型貨物船は荷動きの低迷が続き、厳しい配船を強いられましたが、全体では前期並みの輸送量を確保しました。



千津川丸

鉄鋼副原料、セメント原料としての石灰石や電力用石炭をはじめ、多様な物資を全国各地に輸送しています。
JP TSUBAKI／美津川丸／須寿川丸 他

40

フェリー輸送

4 隻

八戸―苫小牧のフェリー航路では、八戸港の防波堤が決壊し、代替として青森港に臨時寄航しておりましたが、7月中旬の八戸港復帰後は当初の稼働を確保し、トラック・乗用車・旅客とも前年輸送量を上回りました。



べが

八戸―苫小牧間を毎日4便運航。本州と北海道を最短ルートで結ぶ重要基幹航路として地域産業の発展に大きく貢献しています。
シルバープリンセス／シルバーQueen／べにりあ

20

その他事業部門

売上高 ————
78百万円
営業利益 ————
47百万円

0.2%

0

定期船輸送

15 隻

定期船輸送では、震災により混乱していた国内物流が回復に向かい、往航の鉄鋼製品は輸送量を伸ばしたものの、年度後半には急激な円高とタイ国における洪水の影響で輸送量が減少しました。復航輸送の木材製品は夏場に国内在庫が滞留し輸送量は減少しましたが、バルク貨物（ばら積み貨物）輸送では数量を伸ばしました。



MARINE VICTOR

鋼材、機械、一般雑貨、木材製品などを輸送する日本と東南アジアを結ぶ定期航路。企業の国際物流に対応した海上輸送の一翼を担っています。
ORIENT KING / MARINE EMERALD / GOLDEN SHOWER ACE 他

定期船輸送

8 隻

定期船輸送では、被災した茨城港が仮復旧するまでの間、寄港地を京浜地区に変更した影響から第1四半期の貨物量は減少しましたが、国内輸送量はその後回復に向かい、釧路航路・苫小牧航路では前年輸送量を上回りました。北九州航路は昨年10月以降の減船により輸送量は減少しましたが、配船の効率化により収支は改善しました。



勇王丸

生乳をはじめ、紙製品、農水産物、一般雑貨などを輸送する定期航路。スピーディで高品質な海上輸送を提供しています。北関東を中継し、北海道—九州間の一貫輸送も可能となりました。
ほくれん丸 / 神川丸 / 南王丸 / 他



財務情報 (連結財務諸表)

連結貸借対照表

(単位：千円)

資産の部	第46期 2012年3月31日現在	第45期 2011年3月31日現在	比較増減
流動資産	10,586,644	12,041,933	△1,455,289
現金及び預金	1,001,274	779,692	221,582
受取手形及び営業未収入金	5,224,184	3,602,251	1,621,933
原材料及び貯蔵品	917,232	881,810	35,422
繰延税金資産	52,959	153,301	△100,342
短期貸付金	2,191,000	5,560,000	△3,369,000
未収還付法人税等	283,160	91,877	191,283
その他	926,691	983,036	△56,345
貸倒引当金	△9,859	△10,037	178
固定資産	28,040,814	25,675,442	2,365,372
(有形固定資産)	(26,703,309)	(24,605,496)	(2,097,813)
船舶	19,905,722	22,018,871	△2,113,149
建物及び構築物	474,431	506,856	△32,425
土地	1,051,895	1,080,560	△28,665
建設仮勘定	5,193,719	911,781	4,281,938
その他	77,541	87,427	△9,886
(無形固定資産)	(95,562)	(136,556)	(△40,994)
(投資その他の資産)	(1,241,942)	(933,389)	(308,553)
投資有価証券	589,914	683,988	△94,074
長期貸付金	157,055	188,292	△31,237
繰延税金資産	54,084	38,887	15,197
敷金及び保証金	185,390	185,058	332
その他	278,452	211,800	66,652
貸倒引当金	△22,954	△374,638	351,684
資産合計	38,627,458	37,717,375	910,083

(単位：千円)

負債の部	第46期 2012年3月31日現在	第45期 2011年3月31日現在	比較増減
流動負債	9,428,916	7,726,588	1,702,328
支払手形及び営業未払金	3,189,184	3,004,812	184,372
短期借入金	4,124,101	2,630,499	1,493,602
未払法人税等	15,635	798,772	△783,137
賞与引当金	175,053	177,885	△2,832
役員賞与引当金	44,000	44,000	0
災害損失引当金	1,523	4,770	△3,247
その他	1,879,416	1,065,850	813,566
固定負債	8,369,517	9,469,001	△1,099,484
長期借入金	6,916,652	7,978,164	△1,061,512
繰延税金負債	342,674	284,584	58,090
再評価に係る繰延税金負債	77,645	89,090	△11,445
退職給付引当金	120,056	102,898	17,158
役員退職慰労引当金	431,346	600,322	△168,976
特別修繕引当金	479,825	406,640	73,185
その他	1,316	7,299	△5,983
負債合計	17,798,433	17,195,589	602,844

(単位：千円)

純資産の部	第46期 2012年3月31日現在	第45期 2011年3月31日現在	比較増減
株主資本	21,374,313	21,057,110	317,203
資本金	2,368,650	2,368,650	0
資本剰余金	1,248,849	1,248,849	0
利益剰余金	17,784,278	17,467,033	317,245
自己株式	△27,464	△27,422	△42
その他の包括利益累計額	△545,288	△535,324	△9,964
その他有価証券評価差額金	55,507	80,298	△24,791
繰延ヘッジ損益	△1,316	△7,299	5,983
土地再評価差額金	△588,700	△600,145	11,445
為替換算調整勘定	△10,777	△8,177	△2,600
純資産合計	20,829,025	20,521,785	307,240
負債純資産合計	38,627,458	37,717,375	910,083

連結損益計算書

(単位：千円)

	第46期		第45期		比較増減
	自 2011年4月1日 至 2012年3月31日	自 2010年4月1日 至 2011年3月31日	自 2010年4月1日 至 2011年3月31日	自 2011年3月31日	
売上高	41,570,134	38,904,850			2,665,284
売上原価	36,243,972	32,639,791			3,604,181
売上総利益	5,326,161	6,265,059			△938,898
販売費及び一般管理費	3,617,582	3,576,011			41,571
営業利益	1,708,579	2,689,047			△980,468
営業外収益					
受取利息	14,519	31,568			△17,049
受取配当金	17,547	20,213			△2,666
受取保険金	5,247	14,142			△8,895
その他	12,834	29,910			△17,076
(営業外収益合計)	(50,148)	(95,834)			(△45,686)
営業外費用					
支払利息	151,555	170,577			△19,022
為替差損	13,007	86,865			△73,858
その他	7,781	4,423			3,358
(営業外費用合計)	(172,343)	(261,866)			(△89,523)
経常利益	1,586,384	2,523,015			△936,631
特別利益					
貸倒引当金戻入額	352,700	—			352,700
固定資産売却益	—	186,421			△186,421
(特別利益合計)	(352,700)	(186,421)			(166,279)
特別損失					
固定資産売却損	—	32,758			△32,758
減損損失	887,203	42,599			844,604
投資有価証券評価損	47,906	—			47,906
会員権評価損	15,400	15,730			△330
災害による損失	—	19,903			△19,903
(特別損失合計)	(950,509)	(110,992)			(839,517)
税金等調整前当期純利益	988,575	2,598,444			△1,609,869
法人税、住民税及び事業税	290,665	1,170,725			△880,060
法人税等調整額	131,107	△74,421			205,528
(法人税等合計)	(421,772)	(1,096,304)			(△674,532)
少数株主損益調整前当期純利益	566,802	1,502,140			△935,338
当期純利益	566,802	1,502,140			△935,338

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	第46期		第45期		比較増減
	自 2011年4月1日 至 2012年3月31日	自 2010年4月1日 至 2011年3月31日	自 2010年4月1日 至 2011年3月31日	自 2011年3月31日	
少数株主損益調整前当期純利益	566,802	1,502,140			△935,338
その他の包括利益	△9,963	△35,905			25,942
その他有価証券評価差額金	△24,791	△43,062			18,271
繰延ヘッジ損益	5,982	9,314			△3,332
土地再評価差額金	11,444	—			11,444
為替換算調整勘定	△2,600	△2,157			△443
包括利益	556,838	1,466,235			△909,397
(内訳)					
親会社株主に係る包括利益	556,838	1,466,235			△909,397
少数株主に係る包括利益	—	—			—

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	第46期		第45期	
	自 2011年4月1日 至 2012年3月31日	自 2011年4月1日 至 2012年3月31日	自 2010年4月1日 至 2011年3月31日	自 2011年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,966,163	5,503,530		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,220,888	△2,058,864		
財務活動によるキャッシュ・フロー	121,645	△2,024,480		
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14,338	△73,189		
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,147,418	1,346,995		
現金及び現金同等物の期首残高	6,339,692	4,992,697		
現金及び現金同等物の期末残高	3,192,274	6,339,692		

連結株主資本等変動計算書 (自 2011年4月1日 至 2012年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
2011年4月1日残高	2,368,650	1,248,849	17,467,033	△27,422	21,057,110	80,298	△7,299	△600,145	△8,177	△535,324	20,521,785
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当			△249,557		△249,557						△249,557
当期純利益			566,802		566,802						566,802
自己株式の取得				△41	△41						△41
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						△24,791	5,982	11,444	△2,600	△9,963	△9,963
連結会計年度中の変動額合計	—	—	317,245	△41	317,203	△24,791	5,982	11,444	△2,600	△9,963	307,239
2012年3月31日残高	2,368,650	1,248,849	17,784,278	△27,464	21,374,313	55,507	△1,316	△588,700	△10,777	△545,288	20,829,025

財務情報（個別財務諸表）

個別貸借対照表（要約版）

（単位：千円）

資産の部	第46期 2012年3月31日現在	第45期 2011年3月31日現在
流動資産	9,550,962	10,966,390
固定資産	22,323,294	20,402,387
有形固定資産	16,303,351	13,641,708
無形固定資産	95,027	135,959
投資その他の資産	5,924,915	6,624,718
資産合計	31,874,256	31,368,777

（単位：千円）

負債の部	第46期 2012年3月31日現在	第45期 2011年3月31日現在
流動負債	7,810,080	6,219,148
固定負債	3,814,817	5,091,902
負債合計	11,624,897	11,311,050

（単位：千円）

純資産の部	第46期 2012年3月31日現在	第45期 2011年3月31日現在
株主資本	20,782,552	20,577,574
資本金	2,368,650	2,368,650
資本剰余金	1,248,849	1,248,849
資本準備金	1,245,615	1,245,615
その他資本剰余金	3,234	3,234
利益剰余金	17,192,517	16,987,497
利益準備金	321,703	321,703
その他利益剰余金		
特別償却準備金	380,850	503,245
圧縮記帳積立金	89,648	100,829
新造船建造積立金	3,700,000	3,500,000
別途積立金	11,900,000	11,000,000
繰越利益剰余金	800,314	1,561,720
自己株式	△ 27,464	△ 27,422
評価・換算差額等	△ 533,193	△ 519,847
その他有価証券評価差額金	55,507	80,298
土地再評価差額金	△ 588,700	△ 600,145
純資産合計	20,249,359	20,057,727
負債純資産合計	31,874,256	31,368,777

個別損益計算書（要約版）

（単位：千円）

	第46期 自 2011年4月1日 至 2012年3月31日	第45期 自 2010年4月1日 至 2011年3月31日
営業収益	41,370,387	38,684,067
営業費用	39,809,643	36,165,568
営業利益	1,560,744	2,518,499
営業外収益	78,084	110,551
営業外費用	91,495	180,762
経常利益	1,547,332	2,448,289
特別利益	352,700	—
特別損失	1,057,328	110,992
税引前当期純利益	842,703	2,337,296
法人税、住民税及び事業税	234,000	1,156,000
法人税等調整額	154,126	△ 164,465
当期純利益	454,576	1,345,762

トピックス

TOPICS 1 茨城県知事より当社定期航路寄港30周年に対する感謝状

2011年11月14日(月)に行われた『いばらきの港・産業立地セミナー』の交流会において、橋本昌茨城県知事より当社定期航路が茨城港寄港30周年を迎えたことに対し、感謝状の贈呈がありました。

1981年、日立港(現 茨城港日立港区)にコンテナ定期航路を開設以来、現在は週21便を定期配船しています。

これからご利用になる皆様のご期待に応えられるよう、サービス拡充に努めます。



TOPICS 2 東日本大震災遺児支援キャンペーン終了と支援金の送金

2011年8月から東日本大震災遺児支援のため実施していた“がんばろう! 東北! 支え合う心でシルバーフェリー”のステッカー販売キャンペーンは2012年3月をもって終了いたしました。ステッカー売上金に当社からの寄付金を加えた100万円を「あしなが育英会 東日本大震災・津波遺児支援」に寄付しましたのでご報告いたします。

被災された多くの皆様に改めてお見舞いを申しあげますとともに、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。



寄付金の内訳

ステッカー売上金	498,000円
(販売枚数4,980枚)	
川崎近海汽船より拠出	502,000円
合計	1,000,000円

TOPICS 3 常陸那珂一苦小牧航路に新造船投入

常陸那珂一苦小牧航路で現在運航している「ほっかいどう丸」(1999年就航、総トン数12,526t、シャーシ158台、乗用車46台)について、新造代替船を建造することになりました。時代のニーズに最適な新鋭船の投入により船隊整備を図ります。

- 船名: 未定
- 竣工予定: 2013年1月
- 船舶概要: 全長 約173m
全幅 約27m
総トン数 約11,350t
航海速力 約22ノット
積載能力
シャーシ 約160台
乗用車 約100台

豆知識

国際信号旗 (こくさいしんごうき)

港に泊まっている船や走っている船を見ると、国旗や社旗(船会社独自の旗)のほかに、マストにいろいろな形と色の旗を掲げていることがよくあります。これは「国際信号旗」として世界中の船で使用できるように考えられた旗です。この旗を使えば言葉の違う国の船とも意志疎通ができますし、周りにいる他の船にも一度にメッセージを送ることができるので、航海の安全にとっても役立っています。



O
人が海に落ちた



U
安全な航海をお祈りします



現在はアルファベットや数字、特殊な意味をもつ旗など全部で40枚あり、それらを組み合わせ、たくさんの意味をもたせることができます。現代のように無線電話や通信衛星などを使って離れた船同士が簡単に話をするようになって、国際信号旗は大切な通信手段なのです。

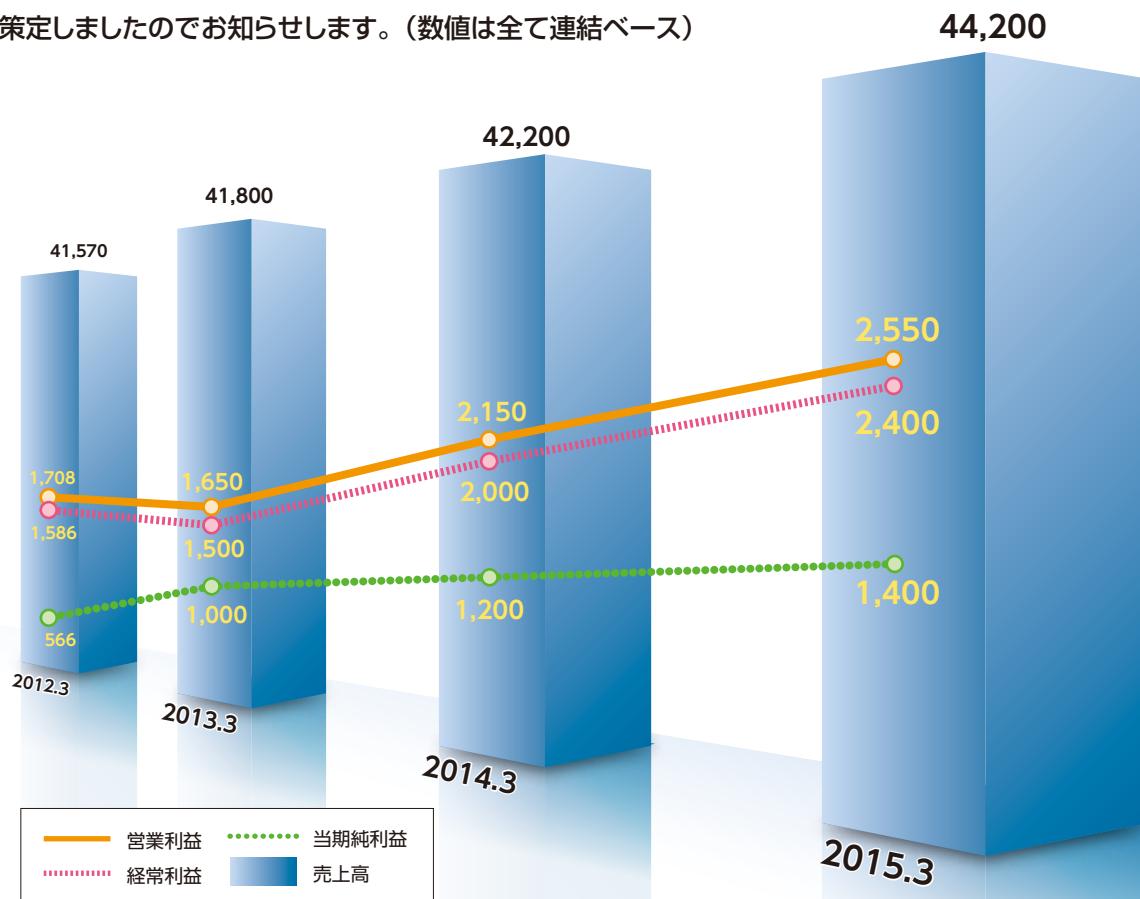
『海と船なるほど豆事典』
(公財)日本海事広報協会 より一部引用



国際信号旗

特集 2012年度 (平成24年度) 中期経営計画の策定について

2012年度中期経営計画 (2013年3月期～2015年3月期)
を策定しましたのでお知らせします。(数値は全て連結ベース)



重点施策

- 1 近海部門の収支改善に傾注し、収益力の向上と安定配当の継続を目指します。
- 2 新鋭船投入により輸送サービスの充実を図るとともに燃費効率のアップによる環境保全に取り組み、更なる顧客のニーズに応えます。

投資計画

近海部門および内航部門における新造船建造に対する投資規模は、3年間で総額168億円を予定しています。

期間中の新造予定船

近海部門

- 一般貨物船 12,000型1隻(備船)
- 一般貨物船 25,000型2隻(備船)
- 一般貨物船 28,000型2隻(備船and社船)
- 一般貨物船 17,000型1隻(社船or備船)

内航部門

- 石炭専用船 15,000型1隻(社船)
- 旅客フェリー 10,500型1隻(社船)
- 旅客フェリー 9,500型1隻(備船)
- RORO船 11,000型1隻(社船)
- RORO船 11,000型1隻(社船or備船)



近海部門

課題

不定期船輸送では、石炭等ばら積み輸送用の船隊整備を進め、顧客ニーズに応じた競争力ある船腹提供により、新規市場への業容拡大と安定的な収益体質の構築に取り組みます。

定期船輸送では、日本発着の鋼材、木材製品等の安定輸送量の確保と適正運賃の収受に努めるとともに、アジア地域内での三国間輸送貨物を積極的に取り込み、収支の改善を図ります。

内航部門

課題

不定期船輸送では、鉄鋼・セメント会社向け石灰石専用船、電力向け石炭輸送を中心に安定輸送の継続を図ります。

定期船輸送では、北関東を軸にした北海道から九州までの既存航路網の充実を図るとともに、時代のニーズに適した新鋭船を投入し、更なる収益の安定化を目指します。

フェリー輸送では、本年4月に就航した「シルバープリンセス」を始め、4隻体制を堅持し輸送量の拡大と生活航路としての責任を果たすべく、長期的な事業継続に取り組みます。

株式の状況 (2012年3月31日現在)

▶ **発行済株式の総数** 29,525,000株
(自己株式165,555株を含む)
(資本金2,368,650千円)

▶ **株主数** 2,490名
(前期末比 293名増)

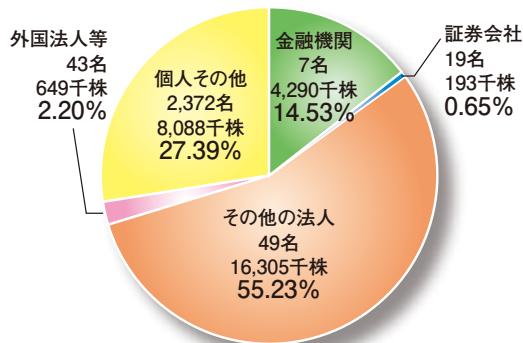
▶ **大株主** (上位11名)

株主名	当社への出資状況	
	株式数 (千株)	持株比率 (%)
川崎汽船株式会社	14,040	47.82%
東京海上日動火災保険株式会社	1,840	6.27%
株式会社損害保険ジャパン	1,080	3.68%
三井住友海上火災保険株式会社	855	2.91%
川崎近海汽船従業員持株会	501	1.71%
北海運輸株式会社	350	1.19%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	347	1.18%
株式会社栗林商会	304	1.04%
株式会社ダイトーコーポレーション	278	0.95%
株式会社リンコーコーポレーション	150	0.51%
日東物流株式会社	150	0.51%

▶ **株価及び株式売買高の推移** (2012年4月末現在)



▶ **株式の所有者別状況**



表紙の船

The Ship on the Cover

“シルバープリンセス”

本船は2012年4月にデビューした当社の最新フェリーです。快適度のアップした全席指定の2等室や赤ちゃん連れにも嬉しいベビールーム、ケージを備えたペットルームを完備し、さまざまなニーズに応えるべく設計されています。就航前に開催された船内見学会では「かわいい！乗ってみたい！」「特等室はホテルみたい！」など大きな期待の声が寄せられました。今後も安全運航を第一に、皆様の楽しく快適な旅をお手伝いします。



船舶概要

総トン数 10,500t 航海速度 20.5ノット
全長 150m 旅客定員 500名
車両積載能力 トラック92台 (12m換算)、乗用車30台

会社概要 (2012年6月28日現在)

社名	川崎近海汽船株式会社 KAWASAKI KINKAI KISEN KAISHA, LTD.	役員	代表取締役会長 森原 明 代表取締役社長 石井 繁礼 常務取締役 木村 孝史 常務取締役 上杉 芳人 常務取締役 赤沼 宏 取締役 高田 雅彦 取締役 高木 久裕 取締役 友井 彰彦 取締役 杉本 利文 取締役 寅谷 剛 監査役 島村 康雄 監査役 (非常勤) 堤 則夫 監査役 (非常勤) 生和 勉 監査役 (非常勤) 鈴木 修一
設立	1966年(昭和41年)5月1日		
本社	東京都千代田区霞が関一丁目4番2号		
資本金	23億6,865万円		
代表者	代表取締役社長 石井 繁礼		
従業員数	388名(2012年3月31日現在)		
主な事業内容	海上運送事業 海運仲立業 港湾運送事業および倉庫業 貨物運送取扱事業 海運代理店業		

運航船舶 (2012年3月31日現在)

※他社との共有船

	船名	船種	総トン数	重量トン数(k/t)	主要馬力	航海速度	建造年月	就航状況
社船・共有船	ほくれん丸	RORO	13,950	6,597	D-24,256	23.5	2006年6月	内航定期船
	第二ほくれん丸	RORO	13,950	6,597	D-24,256	23.5	2006年7月	内航定期船
	神川丸	RORO	13,018	6,387	D-21,618	22.0	2002年9月	内航定期船
	ほっかいどう丸	RORO	12,526	5,937	D-32,400×2	20.0	1999年9月	内航定期船
	勇王丸*	RORO	9,348	5,335	D-17,185	20.7	2001年6月	内航定期船
	シルバークィーン	フェリー	7,005	3,455	D-12,000×2	20.7	1998年3月	フェリー
	フェリーはちのへ	フェリー	5,603	3,352	D-5,740×2	18.2	1989年7月	フェリー
	美津川丸	石灰石専用	3,497	5,800	D-3,350	12.5	2007年10月	内航不定期船
	JP TSUBAKI*	石炭専用	7,287	6,600	D-4,420	12.0	2008年11月	内航不定期船
	JP COSMOS*	石炭専用	7,287	6,600	D-4,420	12.0	2008年2月	内航不定期船
	須寿川丸	プッシュャーバージ	94	3,918	D-2,400	9.8	1992年7月	内航不定期船
	川洋丸*	一般貨物	3,576	6,097	D-3,300	12.5	1990年6月	内航不定期船
社船・共有船計		12隻	97,141	66,675				
定期備船		39隻	322,329	443,443				
運航船舶合計		51隻	419,470	510,118				

川崎近海汽船株式會社

東京都千代田区霞が関一丁目4番2号 (〒100-0013)

TEL:03-3592-5800 FAX:03-3592-5911

当社IRサイトをご活用ください。

当社ホームページでは、プレスリリースや決算情報等を掲載しております。ぜひご活用ください。

<http://www.kawakin.co.jp/ir/index.html>

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月
- 同上総会権利行使株主確定日 3月31日
- 配当金受領株主確定日 3月31日
- 中間(第2四半期末)配当受領株主確定日 9月30日
- 基準日 上記確定日のほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
- 特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
- 郵送物送付先(電話照会先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
- 公告方法 電子公告により行います。公告掲載URL (<http://www.kawakin.co.jp/>)
ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 配当金計算書について 配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。確定申告をなされる株主様は大切に保管願います。ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いいたします。
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。



古紙配合率70%再生紙を使用しています